

大腸内視鏡検査説明書・予約票

ID: _____ 氏名: _____ 様

検査予約日	年	月	日 () [:]	15 分前にご来院ください
-------	---	---	-------------	---------------

＜＜検査目的＞＞ 大腸（および回腸の一部）の粘膜を内視鏡（直径約 11mm）で直接観察することにより、大腸癌や大腸ポリープ、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患を含めた大腸の病気を発見、診断するための精度の高い検査です。近年増加しつつある大腸癌の早期発見、早期治療には欠かせない検査となっています。

＜＜検査方法＞＞

- ①腸管洗浄剤内服・・・・・・・・ 腸管洗浄液にて腸管内をきれいにします。（自宅もしくは院内）
- ②点滴・・・・・・・・ 脱水防止のため点滴を入れます。
- ③鎮静剤・鎮痙剤注射・・・・ 鎮静剤（希望者のみ）、鎮痙剤（腸の動きを抑える薬）の注射をします。
- ④肛門の麻酔・・・・・・・・ 肛門にキシロカインゼリー（麻酔のゼリー）を塗り、麻酔をします。
- ⑤検査開始・・・・・・・・ ます大腸の一番奥（盲腸）まで内視鏡を挿入し、その後引き抜きながら観察をしてきます。途中必要に応じて生検（組織検査）やポリープ切除（希望される場合のみ）を行います。（検査時間はおよそ 15 分～20 分程度、ポリープ切除がある場合は 30 分程度）
- ⑥検査終了・・・・・・・・ 検査終了後ベッドで 20 分～30 分程度お休みいただきます。（鎮静剤使用時）
- ⑦結果説明・・・・・・・・ PC で画像をお見せしながら担当医より結果説明をいたします。

＜＜検査前日の準備＞＞ 夕食は午後 8 時までに済ませてください。水分の制限はありませんので就寝までとっていただいて結構です。（お茶・水・ミルク、砂糖を含まない紅茶やコーヒー）午後 9 時にプルゼニド _____ 錠を内服してください。

＜＜検査当日の準備＞＞ 朝食は摂らないでください。起床時に、ガスコン（腸内ガスを除去する薬）2 錠、ガスマチン（腸管運動を促進する薬）2 錠をコップ 2～3 杯（500ml 程度）の水と一緒に内服してください。

自宅で腸管洗浄剤を飲まれる方 [:] より腸管洗浄剤を飲み始めてください。
※詳しい飲み方は別紙をご参照ください。

院内で腸管洗浄剤を飲まれる方 来院後腸管洗浄剤を飲んでいただきます。

＜＜内服薬について＞＞

- お薬はいつも通り飲んでいただいて結構です。
- 朝のお薬は飲まないでください。
- 朝のお薬（ ）は午前__時まで飲んでください。
- 糖尿病の薬（インスリンを含む）は内服しないでください。
- （ ）は__月__日より内服を中止してください。

＜＜その他＞＞ 鎮静剤の使用を希望された場合、車やバイク、自転車での来院はおやめください。診察の混み具合によっては多少お待たせする場合がございます。ご了承ください。予約変更、取消は少なくとも前日（休診日をのぞく）までにご連絡ください。

＜＜生検（組織検査）について＞＞ 検査中病変が見つかった場合、必要に応じて生検（組織検査）を行います。生検とは病変の一部を鉗子（かんし）という処置具でつまみ、顕微鏡で観察する検査であり、より精密な検査が可能になります。

＜＜ポリープ切除について＞＞ 検査中 10mm 以下の小さな腫瘍性ポリープ（腺腫）を認めた場合、希望によりポリープの切除を行います。当院では高周波電流のような熱を加えずにポリープを切除する「コールドポリペクトミー」という方法で治療を行なっています。高周波電流を使用するポリープ切除と違い、血管の多い粘膜下層（粘膜の下に位置します）を傷つけずに粘膜の病変のみを摘除する方法なので、出血や穿孔の危険性が低く安全な方法といわれています。10mm 以下であっても、形態・性質・部位等の理由でコールドポリペクトミーの適応にならない場合もあります。

※ポリープを切除した場合、以下の制限が必要となります。

●1週間の制限が必要

腹圧のかかる運動・遠方への外出や出張・長時間の運転・アルコールや香辛料などの刺激物、脂肪の多い食事など

●3日間の制限が必要

長時間の浴槽への入浴

＜＜偶発症について＞＞

腸管洗浄液・鎮静剤・鎮痛剤などの薬剤によるもの

大腸に強い狭窄がある場合、腸管洗浄液を内服すると、強い腹痛や嘔吐、まれに腸管に穴が開く場合がありますので、事前に腹部レントゲン撮影を行い、狭窄の有無などを確認します。

検査をより楽に受けていただくために鎮静剤や鎮痛剤を用いる場合があります。以前の検査時の苦痛の程度や年齢、体格などで投与量を調節していますが、呼吸抑制や血圧の低下、気分不良を生じる場合があります。しかしながら重篤なものは極めてまれです。

内視鏡検査にともなうもの

出血・・・・・・・・

血液をサラサラにする薬を飲まれている場合を除き、ほとんどの場合自然に止まります。万が一出血が強い場合にはその場で止血術（金属のクリップではさんととめます）を行う場合もあります。

消化管穿孔（腸の壁に穴があくこと）・・・・

非常にまれな合併症ですが、腹部の手術や放射線治療の既往、大腸多発憩室や憩室炎のある方で、腸管の高度な癒着がある方でおこる場合があります。

日本消化器内視鏡学会の全国調査（2008年～2012年）によると、偶発症発生率は0.005%、死亡率は0.00013%と報告されています。

万が一、偶発症が起きた際には当院で可能な最善の処置・治療を行います。入院や緊急の処置・手術などが必要になった場合には、対応可能な施設への紹介を含め、しっかりと対応させていただきますが、その際にかかる経費は、原則として患者さんのご負担となりますことをあらかじめご了承ください。

＜＜費用について＞＞

3割負担の場合

観察のみの場合	約 7,000 円
生検を行なった場合	約 11,000 円～18,000 円
ポリープ切除した場合	約 20,000 円～26,000 円

担当医：奥川 殿

私は担当医より（胃・大腸）内視鏡検査の目的、検査の内容および偶発症について説明を受けました。その内容を理解し、検査の実施に同意いたします。

氏名

代理人

住所

※なお、内視鏡検査実施にあたり下記のご希望がある場合には口にチェックをしてください。

鎮静剤・鎮痛剤の使用を希望しない。

検査をより楽に受けていただくために鎮静剤・鎮痛剤を使用することも可能です。以前より薬は使っていない、車やバイクなどの運転の予定がある、検査後の仕事に支障があるなどの場合はチェックしてください

生検(組織検査)を希望しない

生検を希望されない場合、正確な診断を行うために担当医が必要と判断した場合には、別の日にあらためて検査を受けていただく場合もあります。

ポリープの切除を希望しない。(大腸内視鏡検査の場合のみ)

検査後 1 週間以内にご旅行、出張などで遠出される予定の方、腹圧のかかる運動などの予定がある方は、後出血や腸管穿孔のリスクを避けるためチェックしてください。

ご不明な点・ご質問などがございましたら、下記にお問い合わせください。

受付時間	月～金	9:30～13:00 16:00～19:00 (火・金～20:00)
	土	9:30～13:00 15:00～17:00
	第2・4日曜	9:00～12:00

水・祝日・第1・3日曜休診



03-3724-3715